

### 1 自己評価及び外部評価結果

**【事業所概要(事業所記入)】**

事業所番号	2393000043		
法人名	医療法人 寿光会		
事業所名	グループホーム上豊田 青空		
所在地	愛知県豊田市若草町1-7-21		
自己評価作成日	平成24年11月20日	評価結果市町村受理日	平成25年2月25日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

**【評価機関概要(評価機関記入)】**

評価機関名	特定非営利活動法人なごみ(和)の会
所在地	名古屋市千種区小松町五丁目2番5
訪問調査日	平成24年12月10日

**【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】**

尊厳を重視し、「できる事」、「できない事」、「やりたい事」、「やりたくない事」それぞれの入居者様のニーズにあわせた支援。その中でも受容、共感、傾聴を大切にし心に寄り添う介護をしています。理念でもある「虹色カラー」を大切に、その方がその方らしく、そして輝けるよう、入居者様の生活が安定し、日々、楽しく生活できるような支援に取り組んでいます。職員も自分の得意分野を活かし職場でのやりがいを感じてもらい入居者との信頼関係作りに役立っています。

**【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】**

職員を増員し、入居者と向き合う時間を増やすことで、事業所全体の質の向上に努め、長時間レクリエーション、入居者との共有時間の増大などから、入居者の意欲が増し、役割を与えてほしいなど、遣り甲斐をもって生活している姿がある。  
 入居者の好きなこと、出来ること、施設内での役割など、それぞれが、意識を持って生活出来る配慮がある。家族からは入居者の希望をよく聞いてくれるので、安心できる、環境整備が良くなったと評価もある。又、協力医の勤めで、アロマを使用して1時間程度音楽を聴き、気分を落ち着かせる効果の支援も行っている。  
 職員は家庭的な雰囲気大切に、入居者に楽しく過ごしてもらいたいなど、方向性をもった支援に努めている。管理者が変わり、人員の増加とともに、入居者と向き合う時間が増えたことを、最大限利用し、質の向上、入居者の参加意欲の向上など、充実したケアが行われている。今後に向け、ますます充実が期待できる施設である。

**V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します**

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	管理者交代時に理念を再確認しあい、現在、職員に具体的な実践状況を聞きまとめている。それを元に理念の再構築をしている。	理念を誰にもわかるよう、廊下に張り出している。人の個性、共同生活のもと、一人ひとり笑顔で安心して暮らせると言う「虹色カラー」の理念を再確認しながら、職員間で共有して支援に努めている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	散歩時や催し物などで交流している。	町内会に加入しているが、新興住宅街という地域柄、参加可能な行事を行っていないのが実情である。地域住民には事業所の夏祭りへの参加を呼びかけている。又、散歩時など、挨拶を交わし会話をしながら交流を深めるよう努めている。地元中学、看護学生などの体験学習の受け入れがある。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	イベントなどに参加していただいた際、施設内を見ていただき、認知症介護を実体験していただいている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	地域包括センター、民生委員さんには地域へ相互発信の場となり、ご家族様からも直接意見をいただき、サービスの向上に直結している。	事業所行事の報告を行い、事業所の役割、認知症についてなど意見交換があり、運営の反映に努めている。地域の委員などと、「地域を支える」をテーマに、具体的に何をしたらよいかなどの検討、地域の独居老人などからの相談、他施設の紹介など取組がある。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市町村開催の研修会や説明会に積極的に参加している。	2ヶ月に1回程度、市役所(高齢福祉課)に出向き、業務相談などを行い、交流、情報共有を深めている。市主催の研修会(事業者説明会、ケアマネ研修)の参加を行っている。地域包括センター・民生委員とは、連携を取り合い支援に努めている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束となる行為は職員全員が熟知しており身体拘束をせず安全に暮らせるよう努めている	エスケープ事例があった為、現在は玄関施錠を行っている。ヒヤリハットの事故報告があった場合、危険性がある場合は防止策を話し合い、工夫しながら支援に努めている。「拘束0マニュアル」を新人研修で活用している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	事業所内で虐待はあってはならない行為と職員全員把握しており、防止に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見人の必要性がある入居者様はご家族と一緒に制度の理解をすすめ検討している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	必ず読み合わせを行い同意を得ている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱を設置。運営推進委員会の開催、相談員の来所により反映している。	家族からは面会時などに直接意見が出され、カンファレンスや会議で話し合い、方向性を決め、家族に報告して運営に反映するように努めている。業務日誌や申し送りノートを活用し、共有、検討している。家族へは、ケアマネ、管理者などから報告している。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	1ヶ月に1回職員会議を開催している。	月1回の会議で意見が出され、実行・改善を繰り返しながら、議事録に残し、職員に回覧している。又、出席できない職員は前もって意見を提出し、後日報告を受ける。実行した後、再度検討している。	職員全体の介護の質の向上による適切な意見、提案が多く出るよう、研修機会などを多くするなど、充実が期待される。
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	個々に合わせた目標、達成度を評価し給与にも反映されるようにしている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修、内部研修の参加をしてもらい現場にフィードバックしてもらっている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	研修会や渉外活動により交流をしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前、面談時本人、家族の情報収集をしている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	随時、問題解決できる様、話を聞いています		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人、家族共それぞれの希望聞かようにしている		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	事前に生活暦等で情報を得て、それに応じて生活できるよう努力している		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	イベント等には必ず声掛け、参加促し日頃の入居者の様子を見ていただく、本人の希望直接家族に伝えられない事を職員が代わって伝える事もある		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	友人知人が訪ねやすい環境作り、本人の思い出の場所、行きたい場所へ可能な限りお連れできるよう努める	家族・友人の来所が多く、友人などと手紙の交換支援、電話取次などを行っている。入居者の聞き取りから、花見・喫茶店など馴染み場所などを把握し、可能な限り支援に努めている。家族との協力で、なじみの美容室への通い、墓参り、法事など行っている。社協の協力で、車椅子対応の車利用での、馴染みの場所(小原歌舞伎)などへの外出支援がある。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	耳が遠く会話に入れない方、孤立している方を皆んなの輪の中に入れるよう職員が把握し関わりをもてるようにする		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	困った時は出来る事は力になります連絡下さいと伝えてあります		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	可能な限り一人一人の希望に沿うように務めている	日々の、会話の端々の中から思い・意向を把握するように努めている。申し送りノート、経過記録に記入し、職員間で共有している。又、事業所での支援が困難な場合は家族に報告、相談している。新人には、テック表などを利用し、先輩職員の指導がある。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	会話をしながら情報を得たり、また事前に聞いている生活歴から把握している		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	努めている		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	定期的に現状に即した介護計画を作成している	原則は6ヶ月に1度、必要の都度、モニタリングを行い家族の意向を取り入れ作成している。作成時は1週間程度の見直し期間を設け、以後計画のみ直し決定が行われている。又、現場重視に視点が置かれている為、見直し頻度は多く、より良い介護計画となる配慮がある。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	必要に応じて活用している		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	要望に応じて可能な限り柔軟に対応している		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	把握に努め支援している		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	希望を大切に、かかりつけ医がある場合かかりつけ医に行き医療を受けられるように支援している	協力医内科は月2回の往診、歯科は月1回の検診、口腔ケアを行っている。かかりつけ医・他科受診時は家族受診依頼表を持参して受診している。又、緊急時のマニュアルがあり、医療連携の看護師の協力で支援に努めている。薬局を一元化し、薬情報の把握をしている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	気づいた事があれば専用ノートに書き適切な看護を受けられるようにしている		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	病院と連絡をとり連携を図っている		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	看取りに方針を定め医療連携の体制を敷いている	看取りは対応できると契約時に説明している。重度化した場合は訪問看護を利用して支援に努めているが、対応が困難な医療行為の場合は医療連携(法人本体)で対応し、支援に努めている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身につけている	全員参加の元、定期的に講習を行い、実践力を身につけている		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回、避難訓練を行っている	消防の立会いで駐車場までの避難訓練を行い、消火器の使い方、人工呼吸の訓練、火災報知器の点検を行っている。2年に1回AEDの講師会を行い、スプリンクラーは設置済みである。備蓄は法全人内で対応できる体制となっている。	地域との緊急時の連携体制の充実が期待される。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	その方によって対応を変え、人格を尊重した対応を行っている。	「さん」付けで呼び、親しみ(方言)を込めた会話の場合もある。トイレ誘導の声かけは配慮され(距離、声の大きさ、目線の高さなど)、入浴は希望があれば同性介助で行っている。プライバシー確保の為、居室は施錠ができる。職員は面接時に、人格尊重を徹底させている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人に問いかけを行っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたか、希望にそって支援している	なるべく希望に沿って支援できるように努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	化粧をしたい方には職員が出来ないところを手伝っている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	出来る方には、準備、片づけを一緒に行ってもらっている。	介護施設用の食材会社を利用して、献立は1ヶ月分、ユニット毎の調理。食材は毎日届けられている。行事食、季節食は事業所で買い物、調理を行っている。又、食事レクリエーションでは、手作りおやつ(ホットケーキ、ぜんざい、フルーツポンチなど)を入居者と共に調理している。紅葉狩りなど、お弁当での外出がある。家族、地域、推進会議委員などとの参加による、夏祭り、クリスマスなどイベントを行い、楽しめる工夫がある。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	チェック表に記入し、状態把握に努めている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアの声掛けを行い、一人で出来ない方は職員が介助にて行っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄パターンを把握しトイレ誘導を行っている。パット紙パンツの使用も尿量によって使い分けている。	チェック表を参考にし、誘導を行っている。自立している入居者には、見守りや、気づきから、チェックを行っている。夜間は2時間樹雲海の中で、必要に応じ覚醒誘導を行い、またポータブルトイレ利用の支援を行っている。中間は、食前、お茶の時間、行為時など、こまめに声がけをし、布パンに変わった例もある。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分が少ない方には、飲んでいただくよう声掛けを行い、個々の状態に合わせたケアを行うように務めている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	必要最低限の介助を行い、ゆっくりと入浴していただいている。時間、曜日等の指定はしていない。	週2回の入浴であるが、希望があれば対応し、脱衣場は温度計を使用して管理している。市からの予防対策ファイルを回覧し、対応に努めている。足拭きは個人用タオルでの対応がある。又、入浴後の水分補給(お茶、コーヒー、紅茶、ポカリなど)や夏など風とうし良く、リビングでスクリーンを立てた整容の支援を行っている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	居室の温度や、布団の調節等をし、ゆっくり眠れる環境を作っている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方箋を個々のファイルにはさみ、重要なことは申し送りを行い、職員に周知してもらっている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	折り紙の好きな方には折り紙をして頂き、習字を教えることが好きな方には先生をして頂く等、一人ひとりやりたいことをやっていただいている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	近所への散歩、ドライブなど気分転換を図っていただいている。買い物等の希望は、職員やご家族に協力していただいている。	年2回の行事外出では、藤岡の足湯など全員参加で行っている。日常的な外出は、散歩、買い物、喫茶店など同行支援を行い、お墓参り、外食などは家族同行のもと行っている。家族との協力での外食、職員動向での支援もある。ホームセンターなど希望のところへの職員同行がある。	



自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	自己にて持っていたい方は自己管理をさせていただいてる。買い物時に支払をさせていただいたりしている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	実施している。出来ない方は、職員が近況等を御家族にお知らせしている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	毎月カレンダーを手作りし、季節のものを書いていただいている。入居者さんと一緒に野菜作りや、花を育てている。	季節感のあるカレンダー、書道作品、貼り絵など手作りの物が飾られている。中庭は好みの園芸が楽しめるようになってきている。畳コーナーは、洗濯物を畳んだり、寛ぎの空間として活用している。室温、採光など、調節している。夏には、グリーンカーテン(ゴーヤ、きゅうりなど)栽培がある。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	自分の好きなところにすわり、テレビを見たり、ソファーに座りお話をされている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人用の食器や使い慣れた家具を持ってきていただいている。	居室は好みの物を持ち込むことができる。毎朝入居者と共に清掃を行い、曜日ごとに窓ガラス、洗面台の清掃を行っている。居室での飲食は職員、家族などの見守りがあればできる。担当職員との衣替えなど、室内の整理をしている。加湿器、電気毛布など居心地のよい就寝のための配慮がある。シーツ交換月2回、布団干しなどしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	職員の見守りの中、洗濯物干し、食事作りの手伝いをさせていただいてる。		

## 目標達成計画

作成日：平成 25 年 2 月 10 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		個々の経験により現場での対応に差ができてしまう。	職員全員が入居者様に対して同じ質のサービスが提供できる。支援の質の向上	新人研修に参加してもらったり、勉強会の開催を積極的にする。	12ヶ月
2		今年度、新規入社社員が多く、指導できる者が少ない。	今後のリーダーを育成する。	リーダー研修への参加。法人内の介護部会にて育成に力を入れてゆく。キャリアアップに関しての費用を事業所が負担し個々のキャリアアップに協力する。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。